

令和元年度 第3回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日時 令和元年10月29日(火)

午後1時～午後2時30分

場所 蒲郡市役所新館6階601会議室

1 開会

事務局より配布資料の確認、
欠席者の報告

2 議題

(1) 令和元年度第2回議事要旨の確認について

- 事務局より第2回議事要旨について説明
→特に意見もなく承認された

(2) 令和元年度採択事業の経過報告について

- 事務局より採択事業の経過について報告

- ・映画「みんなの学校」上映会は周りの人に参加を勧めている。ただし、第2部の交流会は退席してもよいのか。交流会の趣旨は、不登校・不登校傾向にある子の保護者同士の交流でよいのか。
→「地域の繋がり」という視点で映画に興味があり参加した人でも、交流会に参加してもよい。
- ・教育関係者はどんな人が対象か。
→校長会においてチラシを配布した。先生方に映画を見てほしいと感じる。
- ・交流会を実施しようとなったのは、親が孤独感を強く感じているとともに、不登校向にあった子の兄弟で話し合う場が持てないかという意見があった。他市では、同様のケースでは専門家がファシリテーションとして、中間に入っていることもある。今回はそこまでは準備ができない。
- ・地域の人たちが、交流会に参加し問題意識を共有してもらえるのは、よいことである。
- ・映画の後に観た感想を言い合えるような、気軽に参加できる交流会があってもよかった。
→参加された先生に対する要望ばかりになってしまうことが心配。
- ・今回初めて教育委員会の許可を得て、不登校や保健室登校の児童に特別なチラシを渡せるようになった。

(3) モデル事業（公共的空間の利活用）第3回実施報告、第4回実施について

- 事務局よりモデル事業（公共的空間の利活用）について説明

- ・キッズダンスは会場に活気を出て集客に効果的だった。
- ・店舗は色々な種類があると楽しい。特に飲食ブースがあるとよい。

- コーヒーブースを出すつもり。アピタや地域にも声をかけている。
- ・野菜とか果物の販売があってもいいかもしれない。
- ・ドライフラワーはどういったものをワークショップでやるのか。ドライフラワーは風に弱いので、屋外出店は難しくやり方が気になる。
 - 実物は分からないが、長らくやっている方で現場も理解されていると思う。
- ・フォークソングはどんな団体が出るのか。
 - 主体はキッチンガールズさん。音響から出演者交渉まで全てやってくれている。
 - 周りの参加者も一緒に歌うことができると、現場の雰囲気も良くなると思う。
- ・事故は現在起きていないのか。
 - 地域の方が、搬入・搬出時など警備に立ってくれている。駐車場も準備はしているが、警備がいる程とはなっていない。
- ・この事業は来年度も継続するのか。
 - 一応今年度いっぱい終了となる。それ以降は、会場を使いたい人が自由に使えるようになっていくことが目的。
- ・この「公共的空間の利活用」という事業自体、他の市町村ではまちづくりのセクションではなく、公園や道路を作り管理している部署が、用途を拡大する目的で実施している。
- ・最近、国が公共的空間の利活用に力を入れている。特に芝生を使うことを推奨している。そのため、行政ももっと横に繋がっていけばいいのではないかな。
- ・地域でどのように実施すべきかは話し合ってみてもよいと思う。今回と同様の規模であると負担に感じるようだったら、縮小してもよいと思う。地域にも1年取り組んでみて、「こうしたい」などあるはずである。
- ・アピタから竹島に通じる通り沿いの人たちに、事業をもっと知ってもらう必要がある。
- ・港を活用するには愛知県との繋がりも必要である。
- ・地域の人も少しずつ変わり始めている。
- ・飲食店の出店について、誤解している方が多い。保健所の資料を使って勉強会を実施した。申請にはどんな書類をださなくてはいけないのか、調理はどこまで可能なのかなど。
- ・子供のアレルギーが厳しくなっている中で、調理に使った食材の袋だけでも店頭で張り出してくれれば対応できる。ただし、それも出店者が家に忘れてきてしまうなど、手間であるため怠ってしまう。共有することが必要だと思う。

(4) 助成金要綱の変更について

○事務局より助成金要綱の変更について説明

- ・「事業企画書」の提出が必要であるのに、「計画推進力」が採点項目にある。統一した方がよい。
 - 「計画推進力」を「事業推進力」に変更する。
- ・団体の統一性とはどういう内容か。
 - はじめの一步部門で多いのですが、一人で企画して一人で実施している場合がある。

団体のメンバー全員で取り組んでいるかということ審査する。

→必要ないと思う。

→削除します。

- ・12月にこの要綱でアップしていく。また、ホームページで今までの採択事業の様子を公開していく。

→がまっちでも掲載している。

(5) モデル事業（人材育成講座）実施について

○事務局よりモデル事業（人材育成講座）実施について説明

- ・個人、団体育成講座を三矢氏に依頼している。1、2月で日程調整中。

- ・既存の市民団体には、団体育成講座、個人育成講座のどちらの案内が来るのか。

→団体育成講座には、昨年参加してもらった団体+αに声掛けをする。また、個人育成講座では、実際に市内のある地域で活動されている方を訪問し体験する講座にする。特に、興味のある活動をしているけど会ったことがないという人を訪問する。

→そこに参加してもらおう人には、次にまちづくりを担ってくださる人を誘って参加してほしいと思っている。繋がりができて、困ったときに相談できる関係性が築けるとよい。

→自分たちの活動を充実していくという意味では、団体育成講座に参加する方がよいと思う。ただし、他の団体を知り、刺激を得たいというようであれば個人育成講座に参加してもよい。

→ただし、個人育成講座はたくさんの方が来すぎてしまうと、受入団体が困ってしまうので、調整が必要かもしれない。

- ・受入団体として、自分の団体に来てもらうことは可能か。

→団体も活動を知ってほしいと思っている。

→地域の人を巻き込めるのであれば、よいのではないか。

→少し前にイベントをやって体験ブースを設けたが、来た人も会場で体験して終わりではもったいない部分もある。そこで、実際にやってみてもらえる人が増えることが希望。

→今回は、地域の中でテーマ型の活動に参加する。テーマ型の地域ってということで、どこに依頼するかまでは議論が深まっていない。今後調整していく。

→組織としてどうかということではなく、個人の意識の中で新しい知識を身に着けたという志を持った方が参加するべきである。

→受入団体も決まっていない状態。今後検討を進めていく。

(6) 令和2年度モデル事業について

○事務局より令和2年度モデル事業について説明

- ・まちづくりの主体者がどんどん市民に移っていく。また、ボランティアの活動を事業化していく動きが出てきている。

→政府にもう少し動いてほしい部分もあるが、隣近所の情報まで政府に把握してとい

うのには無理がある。

→ニーズをもっている人などがみんなの合意を取っていく作業が必要。またそれが、あらゆるところで必要になってきている。そのためには、上手にみんなの意見を吸い上げ、まとめていくコーディネーターを育てていくことが必要になってくる。

- ・この前、市内小中学校の教頭先生の前で「これからの地域資源をどうするか」というテーマで話をした。これまで、地域との繋がりや業務は教頭が行っていた。校長先生の人事は、その地域出身の校長を充てていた。しかし、教頭は全く出身地域には関係がない人。そのため、「地域のことをまず誰に相談したらいいのか」という問いに、総代、民生委員、主任児童委員までは浮かぶが、それ以降は知らない。そういったときに、相談できる先として地域コーディネーターがあってもよいと思う。
 - ・今までは、百人一首をやっている団体が学校に呼ばれていた。小江まちカフェでやっているのは、子供達に「なにがやりたい？」と聞いて、「百人一首」となれば、教えることができる人を探してくると作業。実際にやってくれる人に、つないでくれる人も必要。
 - ・公共空間の利活用でも、今回キッズダンスをやった。ただ、今回の出演者は日頃からの関係性もあり、出てくれることになった。そんな関係性を築いていくことも必要。
 - ・どの学校も小江まちカフェのような関係性を築きたいと考えている。地域も学校と触れ合っていないと。ふれあい活動などもやり方かなと感じる。ただし、先生の負担なども考えると難しいところもある。
- 地域が学校に入っていくっていう方がハードルは低い。
- ・コーディネーターとして、人と人を繋げていくことは大事だが、新しい団体が立ち上がらないという課題の解決策には繋がらない。
 - ・刈谷市ではまちづくりコーディネーターの見直しを図るようだ。会議を回すコーディネーターとプレイヤーを繋ぐコーディネーターは分けて考える。
 - ・県の講座で、「地域課題を挙げよう」というテーマで、その解決策をグループで考えるワークショップに参加した。そこで話し合うことで、実践イメージが沸き自分でもできるかなと思った。同様のワークショップを企画すると、はじめの一歩へのエントリーに繋がるかもしれない。

3 その他

- (1) 賀詞交歓会：令和2年1月19日（日） 会場 蒲郡公民館
- (2) どすごいバスツアー
1月16日（土）小江まちカフェ見学交流
- (3) 次回開催時期について
令和2年2月14日（金） 午前10時 で決定
- (4) 連絡事項